

いきいき人生



公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722
E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>



会員数 3,110名
男 1,762名
女 1,348名
2025/2/28時点

令和7年度の事業計画が策定されました（概要版）

1 はじめに

3月に策定した第4次中期計画（令和7年度から令和9年度の3年度）においては、事業環境の変化に柔軟に対応できるよう取り組みの方向性を示しました。令和7年度の事業計画で、単年度の施策の詳細を明らかにしていきます。

2 基本方針

第4次中期計画に基づき事業を実施します。

事業計画は、中期計画と連動し、3か年計画の1年目として取り組みます。

- (1)会員の拡大
- (2)就業機会の拡大
- (3)安全就業の推進と健康の確保
- (4)地域との連携強化
- (5)事業運営基盤の強化

3 事業実施計画及び目標値

(1)会員の拡大

- デジタル広告でセンターに興味を持った方に対し、ランディングページ[注1]でセンターの魅力をわかりやすく伝えます。
- プレシニア層を主な対象としてセミナーを開催します。
- 入会希望者が速やかに入会できるように、入会承認の手続きの見直しを検討します。
- 未就業会員へ状況確認の連絡をする専門員を設置し、未就業会員のセンター活動への参画を支援します。
- 直近で入会した会員を対象に、センターの活動について、より理解を深めてもらうための研修を実施します。

(2)就業機会の拡大

- 人手不足分野をターゲットとした就業開拓に取り組み、派遣事業の拡大をねらいます。
- シニアワーク連絡会[注2]の枠組みを活用し、地域の関係機関と連携し、事業をPRします。
- 会員専用サイトSmile to Smileの活用を推進し、デジタルを活用した就業情報の提供を進めるとともに、シルバーサロンにおける「スマホ使い方相談」で、会員サポートを行います。
- 公園・緑道清掃業務において「人材ストック制度」を導入し、会員の就業辞退等による欠員を速やかに補充できる体制を整えます。
- 新たに就業を開始する会員を対象に、動画を用いた随時研修を実施します。

(3)安全就業の推進と健康の確保

- 職群別の技術研修と同時に実施する形式で安全研修を実施します。
- 交通安全講習会やAED講習会を開催し、就業途上の事故防止や救命の基本について学ぶ機会を提供します。
- 体力測定会を開催し、自身の体力を把握できるようにします。
- フレイル[注3]予防プログラムとして、「健康運動教室」を開催し、日常的な運動習慣をつくるきっかけを提供します。

(4)地域との連携強化

- 高齢者等地域住民の交流を目的としたシルバーサロン事業を区民に周知するために広報を充実させます。
- 会員に対し、地域ブロック活動に関する広報の強化を図り、より多くの会員に活動参加を促します。
- 地域のイベントでのボランティア活動に取り組み、環境美化活動等を充実させます。

(5)事業運営基盤の強化

- 公益法人制度の変更等、事業環境の変化に適切に対応します。
- 接遇、安全、人権等、あらゆる職群で必要となる知識を学べる就業基礎研修を実施します。

令和7年度目標数値

項 目	数 値
会員数	3,140人
契約金額（請負・委任）	930百万円
契約金額（派遣事業）	201百万円

令和7年度予算

総収益	1,108百万円
総費用	1,119百万円

[注1] ランディングページ…オンライン広告や検索エンジンなどのリンクをクリックしたときに最初に表示されるウェブページのこと。

[注2] シニアワーク連絡会…センター、大田区高齢福祉課、ハローワーク、いきいきしごとステーション、シニアステーション稲谷等との連携強化を目的として令和4年度から開催している意見交換会のこと。

[注3] フレイル…年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のこと。

池上・蒲田西合同環境美化活動&懇談会

1月24日(金) 池上駅周辺・池上図書館

比較的暖かい日差しの中、池上駅周辺の環境美化活動と、池上図書館で久しぶりに懇談会が開催されました。美化活動では大越会長を始め26人の参加者が、池上通りから駅前商店街のごみ拾いを行いました。その後、池上駅4階の池上図書館に移動し懇談会を行いました。大越会長の挨拶の後、役員他参加者の自己紹介に始まり、休憩をはさんで健康体操、コグニサイズ(脳を使いながらする運動)を行いました。

参加者の自己紹介では、仕事やサロンに参加されたり、有意義に暮らしている様子がうかがわれました。その後、今後の環境美化活動や、シルバーサロンの予定について話がありました。最後に、ブロック地区担当の高斉理事から挨拶があり、和やかな雰囲気でした。



第14回運沼ふれあい祭り

2月1日(土) ふれあいはすめま(旧運沼小)



晴天に恵まれた中、昨年に引き続き多くの来場者が参加して開催されました。当センターからは8人の会員が、センターの案内チラシの配布や、輪投げ、紙トンボ、折り紙こま、紙飛行機などのコーナーを担当しました。

多くの子どもたちや、親子連れが各コーナーを楽しんでいました。輪投げコーナーでは、初めて輪を投げる幼児の微笑ましい姿や、参加者からは「これ難しいわ」の声、「もう1回やっても良いですか」など再参加もあり大いに盛り上がりました。

折り紙こまの作成者は、色彩の綺麗な仕上がりに感激されていました。紙トンボや、紙飛行機の参加者は飛ばした物を追いかけて、とても楽しげで満足そうでした。

認知症サポーター養成講座 2月15日(土) 馬込特別出張所

「地域包括支援センター馬込・南馬込」のご協力を頂き開催しました!

高齢者誰もが、気を付けたい認知症。認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守るのが「認知症サポーター」です。サポーターを一人でも多く増やし、安心して暮らせる地域環境を目指すことを目的として開催されました。

2020年時点で65歳以上の高齢者は約3,600万人、そのうちの602万人(約17%)が認知症であったことが厚生労働省の調査(厚生労働省老健局「認知症施策の総合的な推進について」)で報告されています。認知症を「わがこと」と考え、正しく理解し、誤解や偏見をなくし、見守る側の適切な対応が求められています。

今回の講座は、地域包括支援センター馬込・南馬込が馬込ブロックの呼びかけに応え開催が実現。一般区民含め21人が参加

しました。講師は地域包括支援センターの計良奈美恵氏と矢野文枝氏。認知症の方に対する接し方、医学的な説明、認知症の種類と症状、老化によるもの忘れとの違い、地域包括支援センターの役割などを丁寧に説明されました。

認知症の方には、「後ろから声をかけない」「急がせない」「本人の意思・自尊心を尊重すること」が大切とのこと。シニア世代だけでなく、全世代に知ってもらいたい内容でした。

講座終了後、アンケートに答えた参加者には「認知症サポーターカード」が配布されました。外出時に、徘徊など気になった方に声掛けする場合に、カードを提示することにより、救済・支援などに活用できるカードです。



矢野文枝氏 計良奈美恵氏



途中、ひと休みして身体を動かしました



私は認知症サポーターです。

認知症サポーターカード

ブロック役員全体会

2月17日(月) 消費者生活センター2 階大集会室

ブロック役員と新規会員約100人が参加。大越会長挨拶の後、東京都健康長寿医療センター研究所の森裕樹氏の講演「さあにぎやかに健康づくり～高齢期からの健康管

理」、荒井登喜江会員の「健康体操」と続きました。その後、4サロン地区別に軽食をとりながらの懇談会が開催され、役員全体会は盛況のうちに終了しました。



森裕樹氏の講演



荒井会員の健康体操



地区別に分かれて懇談会

安全コーナー

『地域の防災訓練に参加しよう』

地域の防災訓練に参加することは、私たちの安全を守るために非常に重要です。災害はいつ起こるかわからず、事前の準備が生死を分けることもあります。そのため、防災訓練に参加することで、災害時の適切な行動を学び、地域全体で協力する意識を高めることができます。

防災訓練では、地震や火災などの災害を想定した避難経路の確認や、消火器の使い方、応急手当の方法などを実践的に学ぶことができます。また、防災グッズの確認や備蓄品の見直しを行うきっかけにもなります。特に災害発生時には冷静な判断が求められるため、訓練を通じて実際の状況をイメージしながら行動をシミュレーションすることが重要です。

さらに、防災訓練は地域住民同士の交流の場にもなります。普段あまり接点のない近隣住民と顔を合わせることで、いざというときに助け合える関係を築くことができます。地域全体で連携し、情報を共有することで、災害時の被害を最小限に抑えることが可能です。特に高齢者や小さな子どもがいる家庭では、周囲のサポートが欠かせません。

防災訓練は単なるイベントではなく、私たち一人一人が命を守るための重要な機会です。忙しい日々の中でも時間を作り、積極的に参加することで、自分自身や家族、そして地域全体の安全を確保することにつながります。ぜひ次回の防災訓練には参加し、災害に備えた知識とスキルを身につけましょう。そして、一人でも多くの人が防災意識を高め、安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう。

なお、このような防災訓練のお知らせは各地域の掲示板や区報にも載ることがあります。また、回覧版にも案内チラシが入っていることがありますので、ことあるごとに見るようにしましょう。

個人でもできる防災訓練もあります。コミュニティの最小単位である「家族」でも防災訓練はできます。例えば災害時の連絡方法、家具の固定、ガラスの飛散防止等がありますが、災害の規模が大きければ大きいほど、自助・共助が必要になります。

ことわざでもあるように「遠くの親戚より近くの知り合い」のとおり、自分が災害を生き抜くために、また、周囲の人を災害から救うためにも、地域の人たちとの交流が図られる防災訓練に積極的に参加していただきたいと思います。

適正・安全委員会



大田区からのお知らせ

東京都“シルバーパス”の 新規購入について

- ◆**内容**: 都営交通と都内民営バスが利用できます
 - ◆**対象**: 都内に住民登録されている満70歳以上の方
(寝たきりの方を除く。)
 - ◆**利用期間**: 発行日から令和7年9月30日まで
 - ◆**費用**: ①住民税が非課税か、令和6年の合計所得金額が135万円以下の方=1,000円
②その他の方=10,255円(4月1日以降に購入の場合)
- ※譲渡所得の特別控除適用がある方は1,000円で購入できる場合があります。問合先にご確認ください。
- ◆**購入に必要なもの**:
 - ・【全員】本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証などいずれか1つ)
 - ・上記①に該当する方は、合計所得金額が確認できる書類(介護保険料納入通知書、課税・非課税証明書などいずれか1つ)が必要です。
 - ◆**申込先**: バスの営業所等
 - ◆**問合先**: (一社)東京バス協会
シルバーパス専用電話
03-5308-6950

令和7年度研修のお知らせ

今年度も、接遇・人権・個人情報・非行及びハラスメント防止を学ぶ「就業基礎研修」を秋に実施します。

また、職群別研修について昨年と同じ内容で行い、「清掃研修」についてもレベル別で行う研修を継続いたします。



そして就業会員養成セミナーでは、今年度も身だしなみ・調理・一般事務の3種類を行います。特に人気の高い「一般事務セミナー」は昨年度よりも回数を増やし、より多くの会員が参加できるように実施します。

研修予定の詳細については、同封のチラシまたはHP内会員専用研修ページをご確認ください。

なお、今年度より会員専用研修ページに就業に際しての研修動画を掲載しています。現在就業につかれています方もこれから就業を始める方も、就業を開始する前に是非確認してください。



レッツトライ！家事援助！！

お仕事の内容や、安心して就業できる仕組みをわかりやすく説明します。個人のご家庭で就業する心配事や質問など、会員コーディネーターがお話を伺います。

★『就業体験』もあります。コーディネーターが同行します。



日 時	4月30日(水)10時00分～12時00分
場 所	蓮沼分室 (西蒲田3-19-1ふれあいはずぬま1階)
申 込 先	蒲田分室 03-6715-9855

健康確認カードの廃止と電子化のお知らせ

これまで健康に関する啓発を目的として、健康確認カードを、誕生月を迎える会員の方あてに毎月郵送していました。令和7年度からは会員専用サイトSmile to Smile(略称「スマスマ」)を利用して、誕生月の皆様へお知らせをお送りします。スマスマでは、就業情報やその他お知らせがご覧いただけます。スマスマの使い方は、シルバーサロンのスマホ使い方相談実施日にご相談いただけますので、登録がお済みでない会員の方は是非ご参加ください。

令和7年度の会費について

令和7年度の正会員会費は、昨年度と同様に2,000円です。

請負契約の就業をしている方で、令和7年4月から6月のうち、単月で2,000円より多くの配分金が発生した場合は、配分金から会費を控除します。

その他の方には、7月末頃に払込取扱票を郵送しますので、郵便局でお振込みください。

また、シルバー派遣のみで就業している方も控除になりませんので、郵便局でお振込みをお願いします。

今後の配分金の支払日について

3月分	4月30日(水)
------------	-----------------

※就業報告書は、就業が終わり次第速やかにご提出ください。